

美術講演会

鍋木清方《築地明石町》を
めぐるあれこれ

鎌倉市鍋木清方記念美術館では、特別展「秋冬の情趣、清方のことば」（10月23日～11月28日）を開催し、季節の風情に画趣を感じ創作された清方作品を紹介します。清方の画業の始まりから晩年まで一貫したこの制作姿勢は、鍋木芸術の真髄とも言えるものです。

清方没後50年を半年後に控えている今秋、大回顧展の開催準備をされている東京国立近代美術館・主任研究員 鶴見香織氏を講師に迎え、清方芸術や代表作《築地明石町》についてお話しいたします。

講師：鶴見 香織氏

（東京国立近代美術館・主任研究員）

【プロフィール】

東京藝術大学美術学部芸術学科卒業。1993年より群馬県立近代美術館に勤務。2006年より東京国立近代美術館主任研究員。専門は日本近代美術史。



日時：令和3年11月9日（火）午後1時30分～3時

* 開場及び入館は午後1時からです。

* 新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更となる可能性があります。

場所：鎌倉市鍋木清方記念美術館 ホール
鎌倉市雪ノ下一丁目5番25号
（※駐車場、駐輪場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。）

料金：500円（観覧料を含む）

定員：25名様

お申込：電話または当館窓口にて

10/12 午前9時よりお申込受付（先着順）

問合せ：電話 0467-23-6405

FAX 0467-23-6407

主催：鎌倉市鍋木清方記念美術館

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団



JR 横須賀線・江ノ電「鎌倉駅」下車。
小町通りを北に徒歩7分左折。

美術講演会 申込欄

11月9日（火）の美術講演会に参加いたします。

ご芳名	ふりがな	ふりがな
ご住所	〒	〒
お電話		

※ご記入いただいた個人情報は、鎌倉市鍋木清方記念美術館で行う事業以外に使用することはありません。